

「必要をすべて満たして下さる神」ピリピ4：19 12・9・23

I 必要をすべて満たして下さる神。私達が本当に信じて、日々祈り、拠り頼んでいるお方は、本当に今も生きておられ、天地創造の時から、すべてのものを与え続けておられる素晴らしいお方。 1. 「私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます」ピリピ4：19。

2. 「神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかりに与えることのできる方です」

Ⅱコリ9：8。

3. 「蒔く人に種と食べるパンを備えて下さる方は、あなたがたにも蒔く種を備え、それをふやし、あなたがたの義の実を増し加えて下さいます」9：10。

4. 「いったいだれが、あなたをすぐれた者と認めるのですか。あなたには、何か、もらったものでないものがあるのですか。もしもらったものなら、なぜ、もらっていないかのように誇るのですか」Ⅰコリ4：7。私達（生まれてから今日まで）も教会（創立12周年、12年間）も、今日まで、すべてを「神からもらった」（いただいた）恵みで存在している。数えきれない、計り知れない神の恵み！物質的恵みも霊的な恵みも！「あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです」Ⅱコリ8：9

5. 「主よ。偉大さと力と栄と栄光と尊厳とはあなたのもので。天にあるもの地にあるものはみなそうです。主よ。王国もあなたのもので。あなたはすべてのものの上に、かしらとしてあがむべき方です。富と誉は御前から出ます。あなたはすべてのものの支配者であられ、御手には勢いと力があり、あなたの御手によって、すべてが偉大にされ、力づけられるのです。…まことに、私は何者なのでしょう。私の民は何者なのでしょう。このようにみずから進んでささげる力を保っていたとしても。すべてはあなたから出たのであり、私たちは、御手から出たものをあなたにささげたにすぎません」

I 歴代29：11-14。

Ⅱ 素晴らしい満たし主、与え主なる神への応答 1. 一つ一つの恵みを忘れず、記録し、感謝し、神を賛美し礼拝する。「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな」詩103：2。 2. 神に心から感謝し、神が与えて下さった物の10分の1（もともと神のもの）を神にささげる。それは、神の祝福が伴う幸いなこと。「十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。…わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ」マラキ

3：10。神は、すべてをご覧になり、祝福される。 3. 神の多くの恵みに感謝しつつ、礼拝での奉げ物や必要な所に奉げさせていただく。神は、すべてを見て下さり、神の恵みへの感謝、喜んで奉げる心を喜ばれる。「ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいませ」Ⅱコリ9：7。励まされる実際の証し。そこには、強制や律法主義はない。神の豊かな恵みから生まれたもの：「マケドニヤの諸教会に与えられた神の恵み」→「苦しみゆえの激しい試練の中にあっても、彼らの満ちあふれる喜びは、その極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て、その惜しみなく施す富となったのです」Ⅱコリ8：1，2。 4. 会計の奉仕者の為に教会全体で祈り支える。教職者の働きが、教会の祈りの支えなしにはできないように、会計の奉仕も教会の祈りの支えが欠かせない。伝道のプログラムに教会の全員が参加できなくても、教会の皆が祈り支える時、それは、ある特定の人業ではなく、教会の業となり神は祝福される。同じように、教会の会計の奉仕も、教会の全員が携わる事はできないが、教会の皆が、会計の奉仕者のために祈り支える時、教会の業となり、奉仕者も支えられる。「互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい」ガラ6：2。

5. 正しい献金の扱い。「私たちは、この献金の取り扱いについて、だれからも非難されないように心がけています。それは、主の御前ばかりでなく、人の前でも公明正大なことを示そうと考えているからです」Ⅱコリ8：20，21。本で行われる会計報告は、とても大切なこと。①神の前に、人の前に、会計状況が明らかになり、満たされている時、心から、神に栄光を帰し、教会の皆で神に感謝したい。また、必要が満たされていない時、それも明確に報告がなされ、私たち教会は、皆で心を合わせ、全能の満たし主に「必要を満たして下さるように」心から祈ることができる。マタイ7：7。また、私達も主と教会を心から愛して、心から奉げ、ささげる恵みにあずかることができる。「聖徒たちをささえる交わりの恵みにあずかりたいと、熱心に私たちに願ったのです」Ⅱコリ8：4。神は、ご覧になっており、報いて下さる。5：10。②すべてを見て、知っておられる神を忘れ、与えず、蓄える事自体が目的となってしまう、与えられたもの、奉げられたものを、奉げられた意図に添い、必要なものに正しく用いる事をしないなら、神の恵みの流れは止まり、神の恵みは注がれなくなる。「正当な支払いを惜しんでも、かえって乏しくなる者がある。おおらかな人は肥え、人を潤す者は自分も潤される」箴言11：24，25。「私たちはみな、キリストのさばきの座に現れて、…各自その肉体にあってした行為に応じて報いを受けることになるからです」Ⅱコリ5：10。すべてをご覧になり、知っておられる神を信頼して一日一日、一步一步、歩めますように。